



産科だより

康心会汐見台病院

令和元年



令和元年ももうすぐ終わりですね。

今年には産科だよりをより多くの方に見ていただいたようで、「今月の赤コーナー」に載せてほしいとお声を掛けていただくことが多くなりました。恥ずかしながら、病院内に掲示されている産科だよりの更新がされていないことなども指摘いただいたり・・・。申し訳ありません。毎月更新はしていますので、掲示もタイムリーにできるよう努力いたします。でも、ご指摘いただくようになったということは、楽しみにしてください。ついでに嬉しくもありません。来年も赤ちゃんや情報を載せていきますので、ぜひお声を掛けてください。出産を終え、産科に来る回数が減ってしまったママさんたちもHPにも掲載してありますので、引き続き御覧ください。来年も頑張りますのでよろしくお迎えいたします。皆さん、よいお年をお迎えください。

担当 郷原

◆婦人科疾患の手術件数が増えています。

婦人科手術とは、卵巣嚢腫や子宮筋腫、子宮体がん、子宮頸がんなどに対する治療のひとつです。今まで当院では開腹手術が主でしたが、7月に新しく赴任した医師2名が得意とする腹腔鏡下手術も行ようになりました。

腹腔鏡下手術はガスでお腹の中を膨らませ、小さな穴を4ヶ所開けて、そこから細い手術器具を入れて行う手術になります。腹腔鏡下手術は開腹手術と比較し、術後の痛みが少なく、傷が小さいので目立ちません。術後の回復も早い。ため、入院期間も短く済み、社会復帰も早期から可能になります。手術をした方がいいと言われているが、仕事もあって長期に休むことはできないと悩んでいる方や、子宮筋腫など指摘されたことはあるけど、自覚症状が少ないからそのままになってしまっている方。例えば、子宮筋腫や卵巣嚢腫が大きくなったりすると、過多月経（経血量が多い）になり、知らず知らず貧血になっていることもあります。貧血になると、身体は疲れやすくなります。痛みが出現する場合もあります。そうなれば、日常生活やお仕事にも影響することになるでしょう。婦人科への受診は躊躇してしまいがちですが、今は大した自覚症状がなくても、まずは当院の医師に相談してみてもいいでしょうか。



◆お知らせ 面会制限について

12月13日より、きょうだい面会が中止になりました。インフルエンザなどの感染症が流行しているためです。15歳以下のお子様の面会は中止していただくことになりました。面会時には引き続き、①体温測定 ②マスク着用 ③風邪症状がないこと ④手洗いの徹底が条件になります。患者様、そのご家族の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いたします。ご不明な点がございましたら、お気軽にスタッフにお尋ねください。



◆今月の赤ちゃん

11月28日 17時46分 男児。前期破水から丸2日。点滴で陣痛を誘発し、8時間程度でお産になりました。ママは分娩台でも冷静で、とても上手にいきむことができていました。赤ちゃんは出生後、計測が終わり、初めて服を着た時に撮りました。

